

柏木ビジョン

2025 .6. 28
新宿区立
柏木小学校
実践通信
第 8 号

1 年国語科 ねことねっこ

I. S. 教諭

ライブ感満載 ノリノリの授業



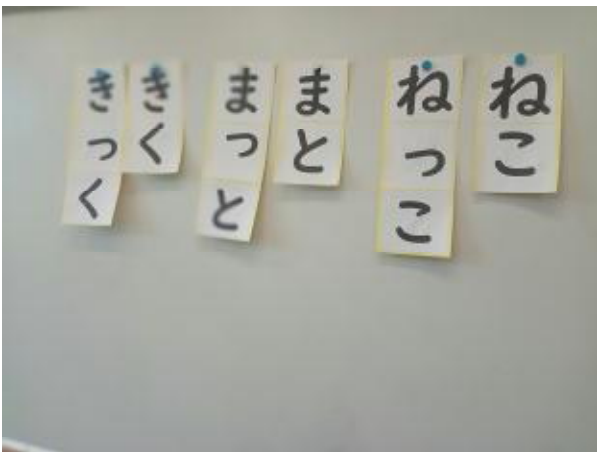
変身ボックスから出てくることば

変身ボックスから「ね」の字が見えています。最初は「ねこ」というカードが取り出されました。それをしまつて、今度も「ね」の字だけが見えています。そのまま引き上げると、今度は「ねっこ」という文字が出てきました。今度は「ま」という文字が変身ボックスからあらわれました。

次に変身していることを予想して「お願い、お願い」と願う子どもたち。「まっと」という言葉があらわれると、「やったー」という声が上がります。今度は、「きく」という言葉が出され、子どもたちは迷うことなく「きく」という言葉を予想しました。

「小さな「っ」が入っている」

「最初は2文字だったけど、3文字に変わった」と、子どもたち。



めあて 小さい「っ」を読んだり書いたりしましょう

教科書に書いてある文章の中の小さな「っ」に○を付けてみましょうという指示があり、子どもたちは自分の教科書に○を付けています。

「5つあった」

という子どもたち。

「では、モニターに映している文に、同じように○を付けてください」

みんな、自分があててほしくて、姿勢をきちんとし、手をあげています。指名された子は、モニターの文に赤字で○を付けます。

低学年のうちは、迷わずにできることを確認しながら学習を進めることが多くあります。教員も話し方をゆっくり、しかもはっきりと話します。できないことをできるようにすると言った学習もありますが、みんなができることで安心して、満足感を味わうと言った意味合いもあるのです。





文章中の「っ」に○



私にあててください

読み方と書き方の指導

「いっぴき」

「このときの「っ」は読みません。それを手をたたいて表すと、パン、うん、パン、パンとなります」

と I.S.教諭。読み方を動作を伴って指導します。子どもたちも、同じような動作をします。

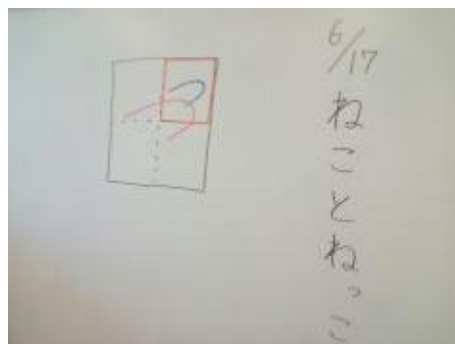
「それでは、はらっぱ」

パン パン うん パン

「かけっこ」

パン パン うん パン

子どもたちは、考えながら、読み方を手拍子で合わせていきます。



2の部屋に書きましょう

「では、ノートを開いて書きましょう」

子どもたちは、「ねことねっこ」を自分のノートに書きました。

「小さなっは2の部屋に書きます」

と、書き方の指導もします。何人かは、小さな「っ」ではなく、大きな「つ」を書いて、「ねことねっこ」になっています。途中で気が付く子もいて、消しゴムをしきりに動かしています。I.S.教諭は、子どもたちの字をチェックしていきます。

次は、聞いた言葉を書き取る練習です。

「らっぱ」

「小さい「っ」は、どこに入れるでしょう。」

「もっきん、小さい「っ」はどこだ」

子どもたちは、考えながらノートに書いていきます。

「たぶれっと」

今まで快調に書けていた子どもたちが、「たぶ」まで書いてとまっています。

「「たぶ」のあとは、「れっと」と書くんだよ」

できなかったことができるようになっていく成長の姿が、目の前で展開されていきます。

「今度は小さな「っ」を入れた言葉を書きましょう。教科書のを参考にしてもいいですよ」

次々と思いついた言葉を書いていく子どもたち。45 分の間、やる気を失わずに学習していること自体で、大きな成長だと思いました。